

平成28年版 災害復旧工事の設計要領

B5判 総頁1,228頁 上製本 頒価6,950円(税別)
会員等*の方は5%引きで6,600円(税込み)、会員等*の方は発送料協会負担
※「会員等」とは正会員(個人・団体)、賛助会員、国、都道府県及び市町村の方です。

「災害復旧工事の設計要領」(通称：赤本)は、昭和32年に初版を発行して以来、平成28年版で60版を数え、災害査定設計書作成時に幅広く活用されてきています。

災害復旧事業は、被災後速やかに復旧することが事業に携わるものの使命であり、このために、災害申請資料の重要書類である災害査定設計書を迅速かつ的確に作成する必要があります。

災害査定用歩掛は、災害査定設計書作成にるための歩掛ですが、実施設計書との乖離が生じないように、平成5年7月より土木工事標準歩掛に準拠しており、施工形態の変化や歩掛の合理化・簡素化などの変化に合わせ、平成28年度も改正しています。

平成28年版災害復旧工事の設計要領の主な改正内容は以下の通りです。

主な改正内容(概要)

「平成28年版災害復旧工事の設計要領」の主な改正内容は以下の通り。

1. 歩掛について(10工種)

① 新規制定(5工種)

土砂運搬工(不整地運搬車による運搬)、安定処理工(自走式土質改良工)、カゴマット工(多段積型)、ブロックマット工、油圧圧入引抜工(180<Nmax≤600)【適用範囲の拡大】

② 日当り施工量、労務、資機材等の改定を行った工種(5工種)

原動機燃料消費量、重建設機械分解・組立、中堀工、切土及び発破防護柵工、防護柵設置工(ガードケーブル設置工)

2. 原動機燃料消費量に伴う改定(23工種)

補強土壁工(帯綱補強土壁)、補強土壁工(アンカー補強土壁)、旧橋撤去工、骨材再生工(自走式)、パイルハンマ工、場所打杭工(オールケーシング工・全回転式オールケーシング工)、場所打杭工(リバーサーキュレーション工)、場所打杭工(アースオーガ工・硬質地場用アースオーガ工)、場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)、場所打杭工(ダウンザホールハンマ工)、鋼矢板(H形綱)(パイプロハンマ工)、矢板工(クレーン引抜工)、締切排水工、大型土のう工、仮橋・仮栈橋工、消波工、多自然型護岸工(木杭打工)、集水井工(ライナープレート土留め工法)、山地すべり防止工(山腹水路工)、地すべり防止工(カゴ工)【ふとんかご、じゃかご】、RCCPI工

3. 記載事項の見直し

建設機械損料算定表改定に伴う名称変更等、記載事項の見直し

4. 施工パッケージ型積算への移行(6工種)

平成27年10月に施工パッケージ型積算基準を拡充したことにより、災害査定設計書に係わり施工パッケージ型積算基準に6工種が移行

プレキャストコンクリート板設置工、石積(張)工、場所打擁壁工(2)、ジオテキスタイル工、発泡スチロールを用いた超軽量盛土工、捨石工

【図書購入申込については、裏面をご利用下さい。】

◎当協会の会員等(正会員(個人・団体)、賛助会員、国、都道府県及び市町村)の方は必要事項をもれなくご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。

◎会員等以外の方は東京官書普及(株)シビルBooks(送料あり)にお申し込み下さい。

申込及びお問い合わせ先：公益社団法人 全国防災協会

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-8 新小伝馬町ビル6F

TEL 03(6661)9730

<http://www.zenkobousai.or.jp>

FAX 03(6661)9733